

★ ラインナップ ★

天空の窓から見える遠くの宇宙

安倍晴明史跡めぐり 其の三

阿部神社

安倍晴明屋敷跡と晴明大権現のほこら

安倍晴明の碑

倫敦(ロンドン)博物館めぐり その3

◆ 天空の窓から見える遠くの宇宙

暖くなると、外へ出かけようという気分になりますね。お花見に潮干狩り、、、と行きたいところばかりで困ってしまいますが、みなさんはどこで”春”を感じていますか？

毎年3月の終わり頃になると、博物館になびいてくる香りがあります。ちょうど夕方帰る頃、そのちょっと甘い花のような若草のようないい香りをかぎながら北斗七星を見上げると、春の訪れを実感します。

大きくて目を引く北斗七星は春の夜空の目印ですが、春はほかに明るい星が少ないため、暗い部分が多いなあと感じるかもしれません。でも実は、その暗い空の向こうに、遠くの銀河たちがたくさん潜んでいます。

おとめ座やかみのけ座あたりを望遠鏡で見ると、小さな雲のような天体がたくさんあるのがわかります。これらはみんな、たくさんの星が集まってできた銀河たちです。私達の太陽系がある銀河系をはじめ、宇宙にはたくさんの銀河がありますが、地球から遠くの銀河たちを見るのは、銀河系の中の星たちにさえぎられてしまいなかなか大変です。けれど春の夜空は、ちょうど銀河系の星の少ない部分にあたるので、そのまばらな星々の隙間から、遠くの宇宙を覗くことができるのです。



銀河は、その形も色もさまざまですが、こんな二つの銀河がくっついているようなものもあります。これはりょうけん座の方向、2100万光年彼方にある「親子銀河(M51)」です。ちょうど2つの銀河が腕の部分をかすめて通過したため、お互いの引力で絡み合っ、このような姿になったといわれています。

博物館日記

第1話「スタッフの紹介」



安倍晴明史跡めぐり 其三

前回は安倍晴明と蘆屋道満の二人の陰陽師の闘いについて見てきました。晴明と道満の闘いは、単に二人の陰陽師同士の争いというだけでなく、権力の座を狙う政治家たちの争いでもありました。さらに二人の闘いは、京都の宮中に仕える陰陽師と全国各地に散らばる民間陰陽師との争いを投影したのもであったのです。

前回、蘆屋道満は播磨の法師陰陽師知徳がモデルであるという説を紹介しました。道満のモデルとなった知徳は、播磨の国で暴れまわっていた海賊を、不思議な術で懲らしめた、という話が残されている地元の英雄でした。その知徳もまた、蘆屋道満と同様に安倍晴明に闘いを挑んで破れ、晴明の弟子になったとされています。地元の英雄も晴明に対すると、引き立て役を演じるようになってしまう。

これは京都の陰陽師たちが、播磨地域の陰陽師たちをその支配下に治めていった、という歴史が反映されて作り上げられた物語でもあるのです。そして、京都の陰陽師の支配下に入った民間陰陽師たちは、自らを安倍晴明の子孫と名乗り、晴明を無敵のスーパーヒーローに仕立て上げることで、自分たちの価値を高めていこうとしたのです。こうして、安倍晴明の超人的な人物像が作り上げられ、さまざまな晴明の伝説が全国各地に伝えられることになったのです。

今回は、そんな安倍晴明の伝説が残されている浅口市阿部山にある、晴明のゆかりの地について、紹介していくことにしましょう。

■ 阿部神社



阿部神社

阿部神社は昭和17年に創建されました。

阿部山は、古くから「安倍晴明天体観測の地」として伝えられており、そのため、この山を阿部山と呼ぶようになったと伝えられています。

そして、鎮守を建立するには、この地がふさわしいとして、現在の場所に阿部神社が建立されました。

■ 安倍晴明屋敷跡と晴明大権現のほこら

安倍晴明屋敷跡のすぐ近くにあり、晴明大権現の「ほこら」が祭られてあります。祭られた年代は分かっていませんが、江戸時代には既に信仰の対象とされていたといわれ、現在でもお参りをする人が絶えません。

ほこらの周りには人工的に配置された石が並んでおり、これらの石を基準に天体観測を行なったのではないかと推測されています。また、並んだ石の一つには晴明大権現と刻まれてあり、晴明の墓とも伝えられています。



天体観測屋敷跡の碑



晴明大権現のほこら



安倍晴明の墓と伝えられています。

■ 安倍晴明の碑



安倍晴明顕彰の碑

安倍晴明の碑は、阿部神社から少し離れた場所にあります。この碑は、昭和 30 年代に、矢掛町江良に住む有志を中心に建立されました。

刻まれた文字からは、「陰陽師の第一人者安倍晴明を顕彰するとともに、安倍晴明天体観測の地として伝わるこの地を後世に伝えよう」という、有志の人たちの熱い思いが伝わってくるようです。

アクセス方法

阿部神社と安倍晴明屋敷跡

- 阿部山キャンプ場駐車場から徒歩約 25 分

安倍晴明の碑

- 阿部山キャンプ場駐車場から徒歩約 20 分

倫敦(ロンドン)博物館めぐり その3

戸田 博之(国立天文台岡山天体物理観測所)

9月20日夜ロンドン着。翌21日、大英博物館見学。念願のパルテノン神殿の彫刻群を見る。午後は帝国戦争博物館、ロンドン・ブリッジ、タワー・ブリッジを見学。22日は午前中に国立陸軍博物館、午後は自然史博物館に行く。ロンドン滞在時間は残り28時間。

自然史博物館には天文の展示もありましたが、一番印象に残ったのは「神戸スーパーマーケット」。これは地震に関する展示コーナーの入口にあります。「神戸スーパーマーケット」の看板横を通過して店内に入ると、商品棚があり日本で売られている食品が並べられ、その横には茶碗や



お椀・すし樽など日本的？な物も並べられています。天井からは TV モニターが吊るされ、それにはコンビニ店内の監視カメラに収められた兵庫県南部地震発生時の映像が流されていました。さらに映像と同期するように店内が揺れ、商品棚の物も動き、物が割れたり倒れたりする音もします。兵庫県南部地震発生時を再現する大掛かりな展示ですが、揺れ自体は震度 4 もないですね。でも雰囲気は十分出ています。「神戸スーパーマーケット」の展示を出ると建物に押し潰された車や、落ちてきた看板など地震直後の神戸の街並みが再現されています。多くの方が犠牲になった兵庫県南部地震は日本から遠く離れたイギリスでも衝撃的な大地震として受け止められているようです。



自然史博物館内を大急ぎで見学した後、隣の科学博物館に移動。こちらも広い。。。産業革命が起こった国だけあって蒸気機関や、科学史における有名な実験装置などの展示があります。どれも興味深いのですが、一日歩き続けた自分の足が言うことを聞いてくれなくなっていました。それでも一通り見学。

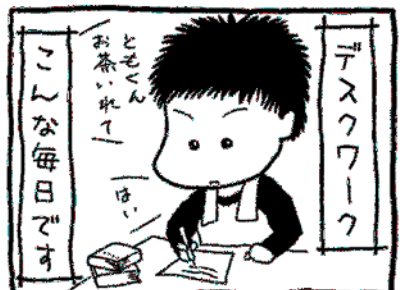
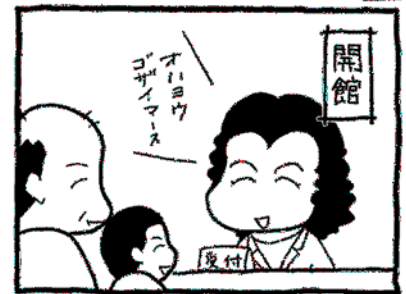
「のれん」の様なディスプレイが面白い「プラスチック誕生 100 年展」が企画展示されていました。18 時の閉館時刻、警備員に科学博物館から追い出され、近くのバッキンガム宮殿前広場まで行き休憩。暗くなり始めたので地下鉄を乗り継いでホテルにもどり、この日の博物館巡りは終了。



ロンドン滞在時間、残り 22 時間。翌日は海事博物館とグリニッジ天文台の見学を予定。。。

博物館日記

第2話「博物館のお仕事」^{田中}



< 編集後記 >

海と遺跡を求めて、エジプトへ行ってきました。壁画に描かれた宇宙像は何回見ても素晴らしく、紅海の魚たちは可愛くて感動。でもやっぱり冬は寒かった、、、 Yumi

今回は浅口市の阿部山にある安倍晴明ゆかりの地を紹介しました。

行くのに少々大変ですが、ぜひ、現地を訪れてみてください。 Kabu

今年はオーロラを見に行けなかったよ。8月1日の日蝕には行くぞ！行けるかな？ peg

因島のお隣、瀬戸田に桜を満喫しに行ってきました。八分咲きでとってもきれいでした

おすすめはハッサクソフトクリームかな。。。 KIYO

4コママンガ『博物館日記』がナガさんの協力によりスタート！博物館の日常や岡山観測所について紹介していく予定です。それにしても、博物館スタッフはいろんなところへ行ってますよね... tomo

この博物館通信は、岡山天文博物館が作成しています。次回 夏号は 6 月ごろ 発行予定です。

岡山天文博物館 浅口市鴨方町本庄 3037-5 TEL・FAX: 0865(44)2465 休館日: 月曜・祝日の翌日

博物館ホームページ URL <http://www.city.asakuchi.okayama.jp/museum/index.html>